

福島県警戒区域への一時立入りに伴うスクリーニング参加報告

三重大学生命科学研究支援センター 放射線化学・安全管理学部門

黒澤俊人

kurosawa@bio.mie-u.ac.jp

1. はじめに

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する福島第一原子力発電所事故により半径20キロメートル圏内が警戒区域に設定され一般住民の立入りが禁止された。同区域の住民は事故発生当初に緊急に避難され、必要な物資を持ち出せなかった方がほとんどである。そこで当面の生活に必要な物品の持出し等を行うため警戒区域内への一時立入り（一時帰宅）が5月10日から行われた。

三重大学へは文部科学省から放射線測定に関する専門家の派遣要請が事故発生当初からあり、登録を行っていたところ6月28日、29日、8月20日の警戒区域内への住民一時立入りに参加することとなった。

2. 住民一時立入りの概要

一時立入りに参加される住民の方々は避難先から一時立入りの出発点となる警戒区域外の中継基地に集合したあと、中継基地にて警戒区域に入るための事前説明や立入り時の注意事項を聞き、タイベックスーツやマスク、手袋等の防護衣に着替えるなどの準備を済ませる。

その後地区ごとにマイクロバスで自宅近くまで移動したあと自宅に立入る。現地での滞在時間は約2時間で、自宅での作業終了後警戒区内のバス乗車場所に集合し、マイクロバスで中継地点に戻る。警戒区域に滞在している時間は移動を含めて約4時間である。

中継基地に到着後、身体及び持ち出した物品の放射線量を測定（スクリーニング）する。汚染が確認された場合は汚染除去作業を行う。スクリーニング終了後、住民はそれぞれの避難先に戻る。

3. 参加した6月28日の住民一時立入りについて

3・1 前日ミーティング

住民一時立入り前日（6月27日）に福島県庁隣の福島県自治会館にてミーティングを行った。6月28日の住民一時立入りは435世帯/749名の予定であり、広野中央体育館、南相馬市馬事公苑、川内体育センターと3ヶ所の中継基地に分かれて行われ、私自身は南相馬市馬事公苑で問診表の回収係とスクリーニングスタッフとして測定係を担当することとなった。

その他に災害派遣医療チーム（DMAT）から一時立入りされる住民の防護衣の説明や気温が30度以上となることが予想されることから、熱中症等の暑さ対策についての注意もあった。また、我々測定担当者には別にGMサーバイメータの測定レンジや時定数の設定等の説明も行われた。

3・2 スクリーニング

派遣された南相馬市馬事公苑ではスクリーニング全体としてオフサイトセンター医療班の医師、看護師、さらに受付誘導係、退出誘導係、測定係等、総勢70名以上のスタッフでスクリーニング作業にあ



図1 スクリーニング派遣先
(地図データ Google マップ)

たった。特に測定係は1班3～4名で構成され6班に分かれてスクリーニングを行なった。スクリーニングを受けた住民は200名程度であり2時間ほどで終了した。



図2 前日ミーティング



図3 問診表の回収作業



図4 マイクロバスで出発する様子

3・3 測定方法と除染基準

測定会場は一時的に管理区域（ホットゾーン）として設定され、スクリーニングは各測定担当者が持参した大口径のGMサーベイメータを使用して、身体のスクリーニングは頭長部から足のつま先まで検査し、物品のスクリーニングは住民の方の了承を得てから、持ち帰った荷物の検査を行った。

除染の基準は13kcpm未満ならば異常無しとし、13kcpm以上100kcpm未満ならば拭き取り除染を行い、100kcpm以上であれば自衛隊の除染所で除染作業を行うことと定められており、今回のスクリーニングでは基準値を上回ることにはなかった。

住民のスクリーニング終了後、測定者や測定台、床等の汚染検査を行い、汚染が無いことを確認したあと管理区域（ホットゾーン）の設定解除を行った。

4. おわりに

参加させていただいた6月28日の南相馬市馬事公苑でのスクリーニングだけでも70名以上が携わり、警戒区域の一時立入り全体では東京電力は勿論のこと、福島県、警察、消防、自衛隊、原子力安全保安院、電気事業連合会、大学、地方自治体職員等、百数十名以上のスタッフを動員して行われていた。改めて事故の重大さと損害大きさを感じた。

今回一時立入りされた住民の中には高齢者の方々も多く見受けられた。恐らく長年を過ごし住み慣れた故郷を離れ、避難生活を余儀なくされていらっしゃるだろう。そのことを考えただけでもとても心が痛む。被災された方々が1日も早く元の生活に戻れることを切に願う。今後も微力ながら協力、応援できる場所は積極的に行動していきたいと真に思っている。



図5 南相馬市馬事公苑スクリーニング会場
(6月28日)



図6 広野町体育館スクリーニング会場
(8月20日)

参考資料

- 1) 原子力災害現地対策本部 住民の一時立入りの実施について (5月7日)